

ジェンダー平等社会をご一緒に♪

私は、東神戸病院で臨床検査技師として30年勤務しています。

コロナに感染しても救える命が救えない異常な事態を
うみだした政治のあり方を正したい。

一人ひとりのいのちや尊厳が奪われる戦争を
この時代にさせてはなりません。

この思いで一生懸命頑張りますので、
よろしくお願いします。

私たちもいっしょにがんばります



神戸市会議員

松本のりこ

神戸市会議員

西ただす

神戸市会議員

味口としゆき

党兵庫1区
ジェンダー平等委員長

ふじすえ ひろみ



プロフィール

1960年生まれ。渕森台在住。東神戸病院臨床検査技師。
家族、夫(藤末 衛 東神戸病院医師)、子2人。

兵庫1区民報

2023年
号外 発行:日本共産党 東灘・灘・中央地区委員会 神戸市灘区灘南通5-2-2-1
TEL 078-881-2581 FAX 078-882-5402 日本共産党的政策を紹介します。

ふじすえひろみの お約束

～いのち・暮らし優先の社会に～



この時代に 戦争をさせない

国政に挑戦する決意をしたのは「この時代に戦争を絶対にさせてはならない」という思いです。政府がすすめているように軍事力を強化すれば相手も軍事力で対抗するでしょう。何か小さなきっかけで戦争が始まってしまう不安を感じます。絶対に戦争にしてはダメです。憲法を生かした対話の外交が必要です。戦前は戦争反対の声はあげることができませんでした。今は言えます。「戦争するな」と私は声をあげていきます。



一人ひとりが大切にされる政治を

「保育所に入れないから仕事に就けない」「小さな子どもがいても単身赴任を命じられる」「ワンオペ育児で自分の時間なんてない」「親の介護で仕事に行けなくなるかも」—私に寄せられた職場の仲間の声です。

労働法制の規制緩和で、労働者の4割が非正規雇用労働者になり、実質賃金はこの10年間、年収で24万円も減っています。その一方、大企業の内部留保は10年間で186兆円も増えて513兆円に。日本共産党は暮らしを良くする年間20兆円規模の財源を提案しています。

政治をもとから変え、みなさんの切実な願いを実現させるため、がんばります。



誰もが生きやすい差別のない社会を

平和をまもる

- 大軍拡・大増税にストップ
- 軍事力増強ではなく、9条生かした話し合いの外交を
- 核兵器禁止条約に参加し、核兵器廃絶を

暮らしをまもる

- 大企業の内部留保課税で賃上げを、最低賃金は1500円に
- 人間らしく働くルールをつくり、少子化に歯止めを
- 物価高騰対策—消費税減税・インボイス中止を
- 気候危機打開へ神鋼石炭火力発電所の稼働中止を

いのちをまもる医療

- 高すぎる国保料と介護保険料の負担を軽減する
- ケア労働者の賃金を、全産業平均レベルまで月5万円引き上げる
- 保険証廃止は中止・撤回を

ジェンダー平等社会へ

- 男女賃金格差の是正、誰もが家事や育児と仕事が両立できる、働く場のルールづくりを
- 「痴漢ゼロ」の実現、女性に対するあらゆる暴力の根絶を
- 選択的夫婦別姓、LGBT平等法、入管法改正を実現し、多様性が尊重される社会を